

7月3日（水） 朝礼のお話し

## 夏はなぜ暑い？

早いものでもう7月です。夏があっという間にやってきました。

これから30℃を超える真夏日や35℃を超える猛暑日と呼ばれる日が多くなってきますね。

と言うわけで、今日は「夏はなぜ暑いのか？」と言うお話です。夏になるとなぜこんなに暑くなるのかと言うことを訊かれた時、みなさんはその理由を説明できますか？今日はそれを考えて見たいと思います。

まず、暑さの元はなんでしょう？これはきっとみんなわかりますね。暑さの元は太陽の熱ですね。太陽は地球からとても遠くにあるのですが、そこから私たちの地球に光と熱を送ってきます。

暑さのもとが太陽から来ることはわかりました。でも夏と冬でこんなに気温が違うのはなぜでしょう？こんなふうに考えた人はいませんか？「きっと夏になると太陽の熱が強くなって暑くなるんだ！」でも残念ながらこれは違います。太陽は1年を通して同じ強さの熱を出し続けています。夏になったらパワーアップするわけではありません。

それならこう考えた人がいるかもしれません。「夏になると太陽と地球が近くなってそれで暑くなるんだ！」なるほど、ストーブやたき火でも近くに行くと暖かさが増しますね。だったら夏に太陽が地球に近くなって暑くなることも説明できそうです。でも、残念ながらこれも違います。地球と太陽の距離は1年を通じてほんの少ししかかわりません。それに高学年の人なら知っていると思いますが、日本が夏の今、オーストラリアなどの南半球は寒い冬です。もし、太陽が近付くと夏になるのなら、地球ではどこでも夏になるはずですよ。

では夏に暑くなる理由はなんでしょう？それは太陽の高さに関係があります。4年生以上の方は理科で勉強したように、夏と冬では太陽の通り道の高さが違います。冬の太陽は今よりずっと低いところを通ります。春から夏になるにつれて太陽の通り道はどんどん高くなっていきます。日本では真夏になっても頭の真上に太陽が来ることは無いのですが、それでも冬よりはずっと高く、真上に近いところから太陽の光が照らされます。太陽から来る熱も低いところからななめに当たるより、真上に近いところから当たる方がずっと強くなるのです。朝や夕方の低い太陽の方を向いてもあまり熱く感じないのですがお昼近く、高い所から照らす太陽の方を向くと熱く感じるのがその証拠です。

夏になると暑くなる理由は太陽の高さの違いでした。夏、真上近くから照らす太陽は冬の低くてななめに照らす太陽よりずっとたくさんの熱を地面に伝えてくれます。これが夏の暑さの原因です。

さあ、今日は夏がなぜ暑いか、と言うお話しをしました。今日お家に帰ったら、このお話しをお家の方にもしてみてください。お家の方でも知らない人がいるかもしれませんよ。今日も最後まで一生懸命に聴いてくれてありがとう！